

## 管内の概要

# 管内の概要 (但馬県民局「但馬地域ビジョン」より)

## 地勢・気候

但馬は、兵庫県北部に位置し、北は日本海、南は播磨地域及び丹波地域、東は京都府、西は鳥取県に隣接し、東西・南北方向それぞれ約 60km にわたり、面積は 2,133.44 km<sup>2</sup> と県全体面積の約 1/4 を占め、東京都の総面積に匹敵する広大な地域です。

豊かな自然環境に恵まれ、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園及び但馬山岳、出石糸井、朝来群山、雪彦峰山の 4 つの県立自然公園があります。水量豊かな円山川をはじめ竹野川、矢田川、岸田川等が日本海に、市川が瀬戸内海にそそいでいます。

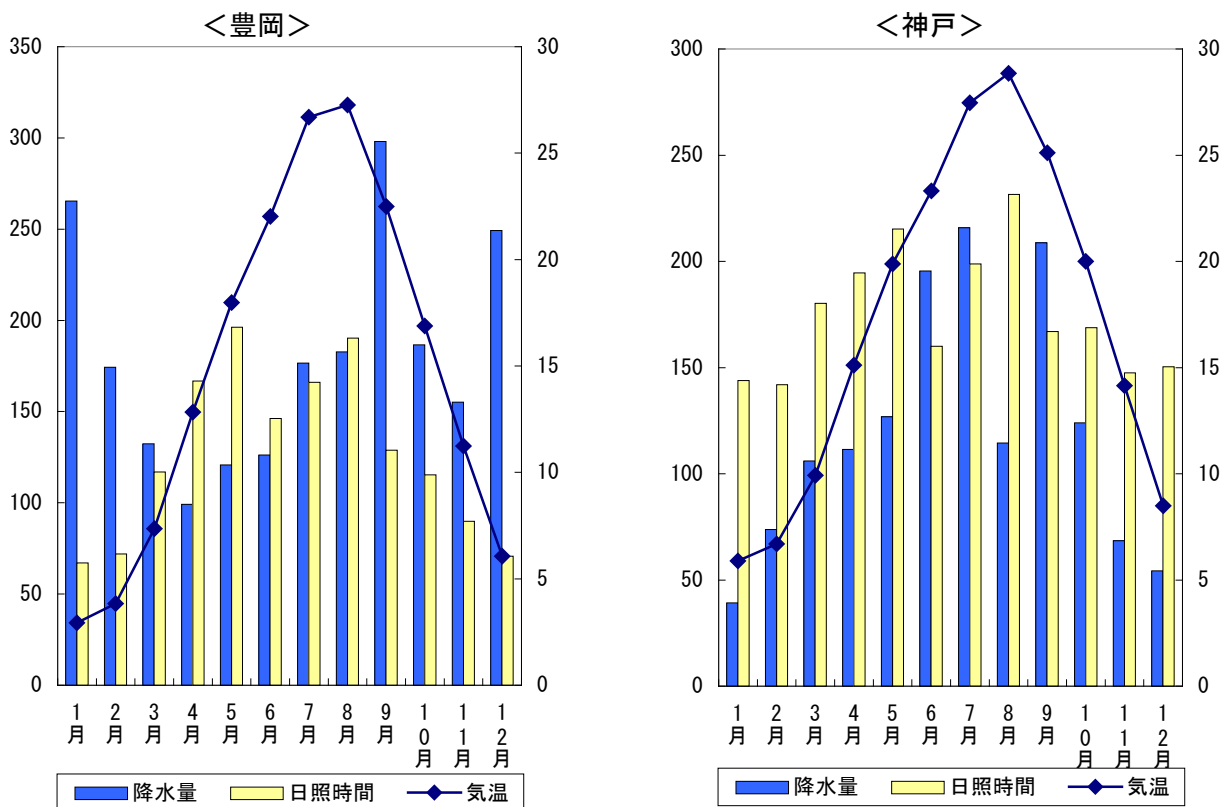
全般に山が多く、兵庫県最高峰の氷ノ山（ひょうのせん）1,510mをはじめとする 1,000m級の山々が連なり、その間に平地が形成されています。また、火山帯地域でもあり、城崎温泉や湯村温泉をはじめ各地で温泉が湧出しています。

植生は、氷ノ山等の山頂部には自然林であるブナ林がみられますが、大半はコナラ等の落葉広葉樹やアカマツなどからなる里山林やスギ、ヒノキ等の人工林となっています。

コウノトリをはじめ、特別天然記念物であるオオサンショウウオやイヌワシ等も域内に生息しており、これらの希少な動物の生息は但馬地域の恵まれた自然を象徴しています。

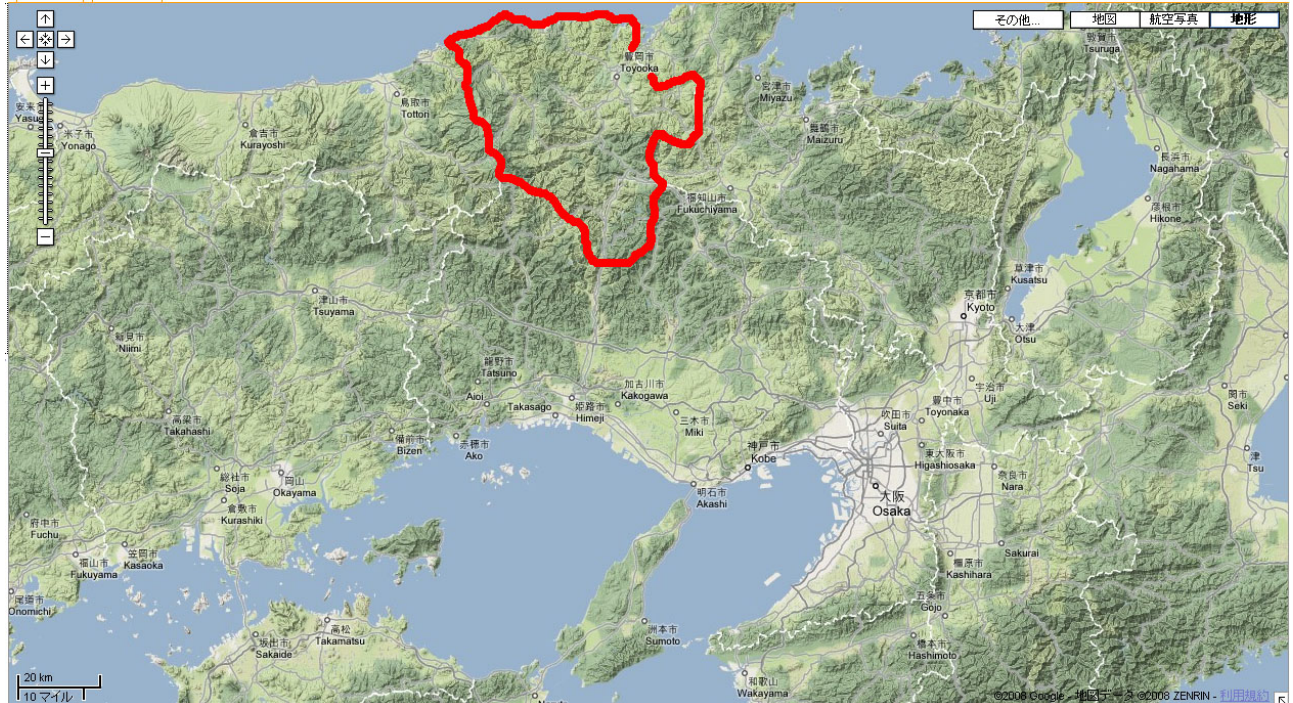
気候は日本海型気候で冬期はシベリアからの北西の季節風の影響を受けて降雪量が多くまた、中央山岳地帯は寒暑の差が大きい内陸型の気候となっています。

気象の状況 【過去 10 年（2009 年～2018 年）の平均値 気象庁ホームページより】



各項目、左軸が平均降水量（単位：ミリ）と平均日照時間（単位：時間）、右軸が平均気温（単位：度）

## 但馬の位置 (Google map より)



## 歴史・文化

古代の但馬は、「天日槍（あめのひぼこ）」の渡来伝説にも見られるように、大陸や朝鮮半島との関係が深く、日本の文化・経済の表玄関であったと言われています。奈良時代には、但馬地域も但馬国となり、その中心地が但馬国府として日高町に置かれたほか、江戸時代には、出石・豊岡・村岡に藩が、生野銀山には代官所が置かれました。竹野・香住などは西まわり北前船の寄港地として栄えました。

明治4年に但馬・丹後・丹波の一部で構成する豊岡県が成立しましたが、明治9年に兵庫県に編入され、今日に至っています。

但馬地域からは、青谿書院の創設者である池田草庵、琵琶湖疎水を開いた北垣国道、明治の教育者浜尾新、日本近代眼科の父河本重次郎、肅軍演説を行った政治家斉藤隆夫、天才歌人前田純孝、世界の冒険家植村直己など多くの人材を輩出しています。

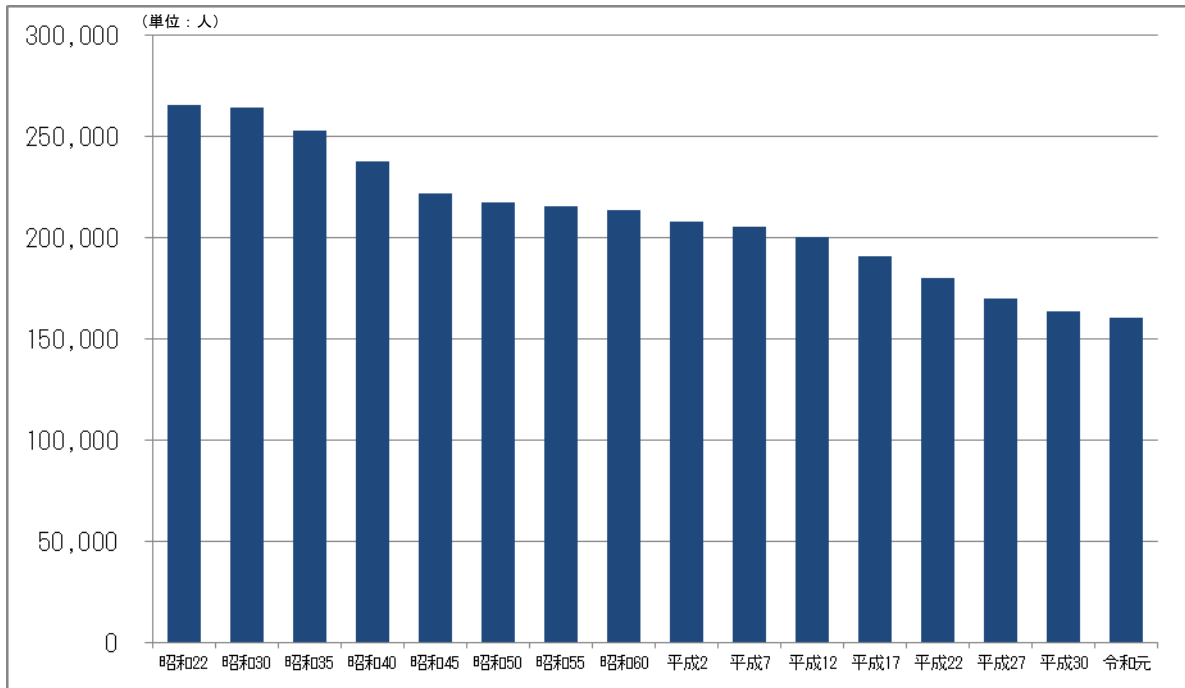
また、文化財としては、円山応挙の描いた大乘寺のふすま絵、鉱石運搬のために架けられた日本最古の鑄鉄橋である神子畑鑄鉄橋、わが国屈指の山城である竹田城跡などが多数存在しているとともに、数多くの国・県指定の無形民俗文化財や祭りがああります。

但馬は日本が誇る名牛「但馬牛」の産地であり、全国の黒毛和牛の99.9%が香美町小代区で産出された種雄牛「田尻」号の血統を引き継いでいると言われています。美方郡では古くから牛の戸籍にあたる「牛籍簿」を使用して固有の血統の維持につとめてきました。平成31年2月にはそれらの取り組みが評価され、「兵庫美方地域の但馬牛システム」が日本農業遺産に認定されました。

## 人口

人口は160,809人と県全体（5,470,649人）の2.9%の比率となっています。昭和22年の265,876人をピークに減少し続けています。（兵庫県HP「兵庫県推計人口令和元年5月1日現在」より）

国立社会保障・人口問題研究所が行った人口の将来推計によると、但馬の人口は、今後も一貫して減少傾向をたどるものと推測されています。



## 産業

但馬の市町総生産額は6,109億円で、県下の2.9%となっています。産業別でみると、第1次産業が209億円、第2次産業が1,196億円、第3次産業が4,674億円となっています。（兵庫県統計課「平成29年度市町内総生産速報値」より）

### ①第1次産業

県下の第1次産業の総生産額1,165億円に対して、但馬の第1次産業の総生産額は209億円で18.0%を占めています。その内訳は、農業が130億円、林業が15億円、水産業が63億円となっています。

農業では、米、ピーマン・だいこん・キャベツ・ほうれんそう・ねぎ・黒大豆・梨が主要な作物として作られるとともに、優れた肉質を誇る但馬牛が各地で生産されています。また水産業では、3つの地方港湾と15漁港をもとに、沿岸・沖合漁業が営まれています。水揚げされる主な魚種は、マツバガニ（ズワイガニ）、ホタルイカ、スルメイカ、ベニズワイガニ、アカガレイ、ハタハタなどであり、全国でも屈指の水揚げ量となっています。

### ②第2次産業

県下の第2次産業の総生産額5兆8,133億円に対して、但馬の第2次産業の総生産額は1,196億円で2.0%を占めています。その内訳は、鉱業3億円、製造業が1,044億円、建設業が147億円となっています。製造業の主なものは、食料品、電気、機械、金属、繊維、かばん等となっています。また伝統的な地場産業は、豊岡かばん、杞柳製品、但馬ちりめん、出石焼、日高の畳、竹田の家具、和田山のばね

等があります。

### ③第3次産業

県下の第3次産業の総生産額 15兆319億円に対して、但馬の第3次産業の総生産額は4,674億円で3.1%を占めています。

内訳は、電気ガス水道業が744億円、卸売・小売業が561億円、金融・保険業が262億円、不動産業が885億円、運輸業が271億円、情報通信業が92億円、飲食・サービス業が205億円となっています。

## 観光

主要な観光地として、古くから名湯として知られる城崎温泉や湯村温泉のほか、但馬の小京都と呼ばれ皿そばが有名な出石などがあります。また、近年は、大河ドラマで一躍注目を浴びた城として、朝来市竹田の「竹田城跡」に多くの観光客が訪れており、城崎温泉等、海外からの旅行者も増加し、インバウンド需要が高まっています。この他にも、豊かな自然を活かし、神鍋高原やハチ高原等のスキー場のほかに、竹野浜や浜坂ビーチなどの海水浴場なども点在しています。

## 交通

主要道路は、東西軸として、国道9号線・178号線などのほか、南北軸として、国道312号線などの国道が中心になって構成されています。また高速・広域自動車道として、姫路方面からは播但自動車道が和田山まで、丹波方面からは北近畿豊岡自動車道が日高まで伸びており、以北については現在延伸工事が行われています。

鉄道は、JR山陰本線・播但線、京都丹後鉄道宮豊線が管内を走っています。また、平成6年に開港した「コウノトリ但馬空港」も、但馬の空の玄関として利用されています。

## 管内の概要（参考）

	但馬全域	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町
人口（R1.5.1 推計人口）	160,809 人	78,630 人	22,546 人	29,379 人	16,505 人	13,749 人
世帯数（R1.5.1 推計人口）	61,888 世帯	30,526 世帯	8,529 世帯	11,583 世帯	6,071 世帯	5,179 世帯
面積	2,133.30km <sup>2</sup>	697.55km <sup>2</sup>	422.91km <sup>2</sup>	403.06km <sup>2</sup>	368.77km <sup>2</sup>	241.01km <sup>2</sup>
人口密度（上記数値による）	75.3 人/km <sup>2</sup>	112.7 人/km <sup>2</sup>	53.3 人/km <sup>2</sup>	72.8 人/km <sup>2</sup>	44.7 人/km <sup>2</sup>	57.0 人/km <sup>2</sup>
市町内総生産（H29 年度速報値）	610,959 百万円	288,037 百万円	78,975 百万円	154,668 百万円	52,217 百万円	37,062 百万円
第 1 次産業	20,985 百万円	8,577 百万円	2,302 百万円	2,667 百万円	4,002 百万円	3,437 百万円
第 2 次産業	119,624 百万円	56,546 百万円	14,048 百万円	36,523 百万円	9,671 百万円	2,836 百万円
第 3 次産業	467,400 百万円	221,523 百万円	62,244 百万円	114,731 百万円	38,292 百万円	30,610 百万円
主要観光地利用者推計 （H29 年）	10,094 千人	3,925 千人	1,238 千人	2,353 千人	1,486 千人	1,092 千人
日帰り客	8,030 千人	2,791 千人	1,011 千人	2,237 千人	1,154 千人	837 千人
宿泊客	2,064 千人	1,134 千人	227 千人	116 千人	332 千人	255 千人

出典：兵庫県ホームページ推計人口（令和元年 5 月 1 日現在）、平成 29 年度市町内総生産速報値、平成 29 年度兵庫県観光動態調査より

## 農業に関する指標（参考）

	但馬全域	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町
総農家戸数（戸）	12,073	4,455	2,397	2,322	1,449	1,450
うち販売農家（戸）	6,234	2,543	978	1,202	679	832
うち自給的農家（戸）	5,839	1,912	1,419	1,120	770	618
耕地面積（㌧）	10,990	5,010	1,530	1,740	1,540	1,170
うち田	9,201	4,260	1,180	1,600	1,170	991
うち畑	1,789	746	342	149	369	183
耕作放棄地面積（㌧）	1,490	502	280	209	283	216
うち販売農家	391	146	58	52	56	79
うち自給的農家	427	139	89	58	80	61
うち土地持ち非農家	674	218	134	99	147	76

出典：農林水産省 2015 年農林業センサス、農林水産省ホームページより

※ 本ページに記載の数値・指標は出典記載の行政等作成資料から抽出したものです。数値・指標の内容、調査方法等についてのお問い合わせにはお応えできませんのでご了承ください。



組合単体ベースのディスクロージャー開示項目一覧

開示基準項目	掲載ページ
業務運営の組織	101
理事及び監事の氏名及び役職名	102
事務所の名称及び所在地	93
特定信用事業代理業者に関する事項 (1) 特定信用事業代理業者の商号、名称又は氏名及び所在地 (2) 特定信用事業代理業者を営む営業所又は事務所の所在地	101
主要な業務の内容	21
事業の概況	13, 47
直近5事業年度における業務の状況を示す指標 (1) 経常収益 (2) 経常利益又は経常損失 (3) 当期剰余金又は当期損失金 (4) 出資金及び出資口数 (5) 純資産額 (6) 総資産額 (7) 貯金等残高 (8) 貸出金残高 (9) 有価証券残高 (10) 単体自己資本比率 (11) 剰余金の配当の金額 (12) 職員数	45
直近2事業年度の事業の状況を示す指標 (1) 主要な業務の状況を示す指標 (2) 貯金に関する指標 (3) 貸出金等に関する指標 (4) 有価証券に関する指標	47 48 48 53
リスク管理の態勢	7
法令遵守の態勢	9
中小企業等の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況	12, 17, 18
苦情処理措置及び紛争解決措置の内容	9
直近2事業年度の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書	32, 33, 42
直近2事業年度の貸出金に係る事項 (1) 破綻先債権に該当する貸出金 (2) 延滞債権に該当する貸出金 (3) 3カ月以上延滞債権に該当する貸出金 (4) 貸出条件緩和債権に該当する貸出金	50
元本補填契約のある信託に係る貸出金に関する事項	53
直近2事業年度の自己資本の充実の状況	56, 57
次の取得価額又は契約価額、時価及び評価損益 (1) 有価証券 (2) 金銭の信託 (3) デリバティブ取引等 (4) 金融等デリバティブ取引（法第10条第6項第13号に規定する取引） (5) 有価証券店頭デリバティブ取引（法第10条第6項第15号に規定する取引）	54
直近2事業年度の貸倒引当金の期末残高及び期中増減額	53
直近2事業年度の貸出金償却の額	53

組合とその子会社等の連結ベースのディスクロージャー開示項目一覧

開示基準項目	掲載ページ
組合及びその子会社等の主要な事業の内容及び組織の構成	66
組合の子会社等の事項 (1) 名称 (2) 主たる営業所又は事務所の所在地 (3) 資本金又は出資金 (4) 事業の内容 (5) 設立年月日 (6) 組合が有する子会社等の議決権の割合 (7) 組合の他の子会社等が有する当該子会社等の議決権の割合	66
事業の概況	66
直近5連結事業年度の連結ベースでの業務の状況を示す指標 (1) 経常収益 (2) 経常利益又は経常損失 (3) 当期利益又は当期損失 (4) 純資産額 (5) 総資産額 (6) 連結自己資本比率	67
直近2連結事業年度の連結ベースでの貸借対照表、損益計算書及び剰余金計算書	67, 68
直近2連結事業年度の貸出金に係る事項 (1) 破綻先債権に該当する貸出金 (2) 延滞債権に該当する貸出金 (3) 3カ月以上延滞債権に該当する貸出金 (4) 貸出条件緩和債権に該当する貸出金	79
直近2連結事業年度の自己資本の充実の状況	80
直近2連結事業年度の事業区分ごとの経常収益、経常利益、資産の額	80